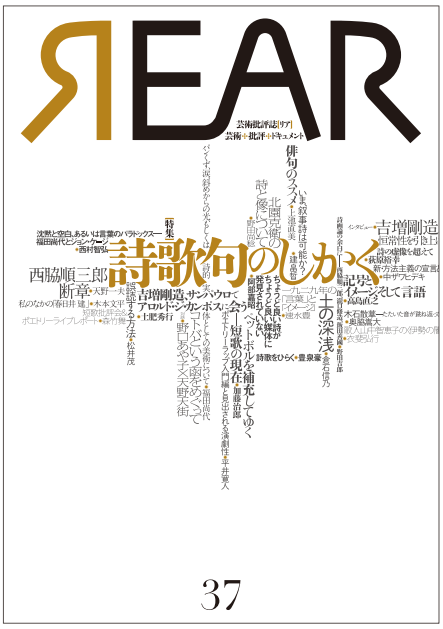
芸術書、雑誌　ご担当者様　　新刊　リア制作室　　ツバメ出版流通取扱

2016年6月下旬配本予定　　ISBN978-4-907210-37-3 C0070　A5判並製188ページ　本体450円

REAR no.37
特集　詩歌句のしかく



REAR37号は、はじめて文芸分野を特集。詩・短歌・俳句などの「言葉」と「イメージ」の関係を多角的に考察します。
巻頭インタビューは東京国立近代美術館で大規模な個展を開催中の詩人・吉増剛造さん。
新進気鋭の歌人・野口あや子さんと、劇作家・演出家で「少年王者舘」主宰の天野天街さんによる対談は、名古屋・大須の七ツ寺共同スタジオを特別にお借りして、ライブ形式で収録しました。
西脇順三郎、宮澤賢治、瀧口修造、北園克衛、新国誠一、塚本邦雄、山田航、ポエトリーラップ…さらには中部地域の豊饒な「短歌」の命脈を探り、批評機能の現況と背景、SNS環境における短詩型のあり方まで、コトバとシカク（視覚、視角、四角、死角、刺客…そして詩客）にまつわる刺激的な論考が繰り広げられます。福田尚代さん、中ザワヒデキさんらの作品掲載、井上有一展やダンスとラップ公演のレビューなど、言葉をめぐるアートの動向が浮かび上がる1冊です。
批評欄では、いま注目の「地域アート」や河原温作品について、気鋭の論者が寄稿しています。

contents

■特集【詩歌句のしかく】
恒常性を引き上げる―手と眼と歌　インタビュー:吉増剛造
ちょうど良い詩がちょうど良い媒体に発見されていない　阿部嘉昭
いま、叙事詩は可能か?　建畠 晢
一九二九年の「言葉」と「イメージ」　速水 豊
詩画論の余白に――西脇順三郎、瀧口修造、飯田善國　野田吉郎
西脇順三郎断章　天野一夫
記号とイメージ、そして言語　高島直之
北園克衛の詩と像について　野田尚稔
パンくず、涙、斜めからの光、もしくは詩的実体としての美術について　福田尚代
沈黙と空白、あるいは言葉のパラドックス―福田尚代とジョン・ケージ　西村智弘
新・方法主義の宣言と作品　中ザワヒデキ
誤読する方法　松井 茂
土の深浅　倉石信乃
木石散華　―たたいた音が跳ね返ってくること　奥脇嵩大
吉増剛造、サンパウロでアロルド・ジ・カンポスに会う　土肥秀行
詩歌をひらく　豊泉 豪
コトバという函をめぐって　対談:野口あや子×天野天街
詩の虚像を超えて　荻原裕幸
私のなかの「春日井 建」　木本文平
歌人山中智恵子の〈伊勢の闇〉を巡って　衣斐弘行
ペットボトルを補充してゆく―短歌の現在　加藤治郎
俳句のススメ　上池直美
ポエトリーラップ入門編と見出される演劇性　平井寛人
短歌批評会&ポエトリーライブ　レポート　森竹 舞
【批評】
アート、地域、プロジェクト　それを評するのは誰か　中村史子
アートをめぐるネゴシエーションの現在
――「名前に反対」展と《渋家》にみる“炎上するコミュニズム”　F. アツミ
抜け殻と奈落　豊田市美「時と意識―日付絵画とコレクション」を見て　林 道郎
【レビュー】
森羅万象―現代美術in豊川　大小島真木+津田隆志　楠本亜紀
山水の構造「山口啓介｜カナリア」　中井康之
生誕百年記念　井上有一　花里麻理
ポジション2016　アートとクラフトの蜜月　高橋秀治
撮ることと、それを拒むこと　土方宏史『ヤクザと憲法』　越後谷卓司
煎茶―山本梅逸と尾張・三河の文人文化―　伊藤大輔
あいちトリエンナーレ地域展開事業「となりの人びと―現代美術in春日井」　田中由紀子
第8回円空大賞展　森羅万象宿精霊　平林 恵
スペインの彫刻家　フリオ・ゴンサレス展　副田一穂
少年王者舘 第38回本公演「思い出し未来」　吉永美和子
ダンスとラップ 島地保武×環 ROY『ありか』　山川 愛
他

▶ご注文はツバメ出版流通まで　**FAX: 03-3721-1922**　TEL:03-6715-6121　MAIL: info@tsubamebook.com
http://tsubamebook.com

貴店名（番線印） ご担当：　様	リア制作室　http://2525kiyo.cocolog-nifty.com/ 返品条件付注文扱い　返品了解　ツバメ出版流通：川人
冊	新刊 **REAR no.37「詩歌句のしかく」** ISBN978-4-907210-37-3 C0070　A5判並製188ページ　本体450円+税
冊	no.38以降定期『REAR』
	バックナンバー　本体各４５０円
冊	REAR no.36「特集 2015 戦争を視る」ISBN978-4-907210-36-6 C0070
冊	REAR no.35「特集 主題としての〈こども〉」ISBN978-4-907210-35-9 C0070